

## 令和7年度 学校研究の概要について（後期）

教育目標	社会の変化に対応できる しなやかでたくましく生きる力の育成
めざす 生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の大切さと共に他の人の大切さを認める生徒（自分も大事、相手も大事）</li> <li>・学びを生かし、問題解決できる生徒（知識は生かすためにある）</li> <li>・一歩高みを目指し、努力できる生徒（常に一歩前進）</li> <li>・多様な価値観を認め、協調性のある生徒（みんな違って、みんないい）</li> </ul>
実態把握	<p>【強み】・学び合いの時間で、自分から課題解決に向けて活動できる生徒がいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア活動やグループ活動に積極的である。</li> </ul> <p>【弱み】・学習規律を守ることのできない生徒がいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びを委ねた際、内容の深まりに欠ける。</li> <li>・曜日課題などの家庭学習に取り組む意識が低く、基礎が定着していない。</li> </ul>
育成をめざす 資質・能力	主体的に学ぶ力
研究主題	主体的に学ぶ力の育成 ～共通の軸を意識した単元デザインを通して～

### 研究の重点と共通実践

#### 「共通の軸を意識した単元デザイン」（委ねる時間と自己決定の場の設定）

- ・内容の自己決定を行い、共通の軸をもとに深い学びを実感できるような授業を実践する。
- ・知識技能の定着と共に課題解決に向けた主体性を身につけるための自己決定の場や委ねる時間を設定する。
- ・学習のゴール（目指す生徒の姿）を明確にし、学習の開始時に生徒と共有する。
- ・視点を示した振り返りを行い、新たな学びへつなげることができるようにする。

#### 「学習規律の確立」

- ・生徒が作成した新たな「**NANACHUstandard**」（学習規律・環境のルール）を徹底する。
- ・主体的な授業に向けて、各クラスの授業の一点突破として目標と達成に向けた手立てを設定する。
- ・授業の中で教員が生徒の姿の価値づけを行う。
- ・+αで学習支援ソフトを活用し、学習内容のアウトプットや少人数学習を行う。

#### 「支持的風土のある集団づくり」

- ・「N-time」（短時間グループアプローチ）を全教員で実施し、支持的風土のある集団づくりを行う。
- ・生徒会や学芸委員会で友だちのよさを見つける取組を行い、生徒に価値づけを行う。

### 検証方法

- (1) 学力調査（全国・県・到達度・地域学力・定期）の経年比較を行う。（定期テストは採点支援ソフトを使用）
- (2) 主体性・支持的風土に関する生徒アンケートでの生徒の自己評価による状況を確認する。

### 学びの集会

七尾中学校の学びや現状、大切にしていきたいこと等について、生徒と教員で共通理解するために、「学びの集会」を実施する。

### 終礼での授業の振り返り（アクティブリコール） 11月より実施

終礼時に授業の振り返りのアウトプットの時間を設定し、1分間ペアで本日の学びを伝え合う。

例：今日の●●では▲▲を学び、■■ができるようになった。（■■がわかった。）

「今日は1限目の英語で関係代名詞の who の活用法について学び、人物を紹介できるようになった。」

「2限目の数学では因数分解の方法について学び、一番よい解き方を選べるようになった。」

## 【今後の実践】

・終礼で1日の授業の学びを振り返る時間を通して、知識の定着を図ります。

授業で学んだことを更に定着させるために・・・

### 「アクティブリコール」

能動的に情報を思い出すことを繰り返すことで、記憶の定着を強化する勉強法です。

説明する、クイズ形式で答える、問題を解く など

メリット① 記憶定着率の向上

メリット② 学習時間の効率化

メリット③ 理解度の深化



視点① 今日の授業で理解したこと。

視点② 今日の授業でできるようになったこと。

視点③ 友だちとの関わりでわかったこと。

視点④ 次の授業で考えてみたいこと。

アクティブリコールのコツ 「自分の力で何も見ないで思い出す」ことです。

終礼時 振り返りのアウトプットの時間を設定 1分間ペアで伝え合う

A：今日の●●では▲▲を学び、■■ができるようになった。

B：今日の●●では▲▲を学び、■■がわかった。

#### レベル1

「今日は1限目の英語で関係代名詞のwhoの活用法について学び、人物を紹介できるようになった。」

「2限目の数学では因数分解の方法について学び、一番よい解き方を選べるようになった。」

#### レベル2

「今日の英語では現在進行形を学び、be動詞と~ingで表すことができるとわかりました。」

例文は I am playing soccer now.です。

↑実際に学んだことを伝える（アウトプット）ことで実力になります